

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球 首脳、政府高官）Ⅷ

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-21 キーワード (Ja): 椎名, 三木, 外務大臣, 太田, 松岡, 屋良, 主席, 堀総務副長官, ランパート高等弁務官, 屋良主席, 愛知外務大臣に対する要請書 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191

42
11
2

三木外相
松岡主席

近藤外務審議官

北米局長

極秘

参事官

法規課長

北米課長

三木大臣、松岡主席会談

49. 11. 2. 米北.

11月2日、松岡主席は、三木大臣を表敬訪問し、懇談した。その要旨次の通り。(北米課佐藤陪席)

大臣より、主席公選実現の際に勝つ見込みもと質した。と云ふ。先方は、その中、問題あり保証は出来ず

と答へ、陸軍長官も同じ質問に対し、~~確答~~確答できなかつた。と云ふ。帰つてから研究して、報らせてほしい旨

要するに、~~更~~USCARは、主席公選について野党も実業界などの意向もきいており、半側は

やはり、~~更~~の印象を与えて、~~更~~のようである旨述べた。更に、先方は、民主党政見は10月29日に

主席公選の実施を党の方針として決定し、発表し、~~更~~のようである旨述べた。今更、~~更~~と、議員が困ることに

する旨説明した。

三木大臣、松岡主席会談
49. 11. 2. 米北.
11月2日、松岡主席は、三木大臣を表敬訪問し、懇談した。その要旨次の通り。(北米課佐藤陪席)
大臣より、主席公選実現の際に勝つ見込みもと質した。と云ふ。先方は、その中、問題あり保証は出来ずと答へ、陸軍長官も同じ質問に対し、~~確答~~確答できなかつた。と云ふ。帰つてから研究して、報らせてほしい旨
要するに、~~更~~USCARは、主席公選について野党も実業界などの意向もきいており、半側はやはり、~~更~~の印象を与えて、~~更~~のようである旨述べた。更に、先方は、民主党政見は10月29日に主席公選の実施を党の方針として決定し、発表し、~~更~~のようである旨述べた。今更、~~更~~と、議員が困ることにする旨説明した。

GA-6

外務省

3817

2

大臣より、どうしたら勝つらと思ふかと質した。と云ふ。先方は、今回の総理訪米の成果如何

にもかかつて、~~更~~施政権の内題、他に、自治権の大幅拡大と格差是正の内題が

重要である。と答へ、更に、~~更~~の方針としては、主席公選に伴つて、公選された主席に大幅な権限

を与えるため、(1)主席に法案、予算案の提案権を与える。(2)主席に立法院の解散権を与える。立法院

に主席の不信任権を与える。(3)布令、布告を廃止する。(4)高等弁務官の拒否権をなくする。の4点

の実施を考へて、~~更~~旨説明した。

GA-6

外務省

報告を提出する。(4) 外務官の拒否権を行使する
の事実を報告するに注意し説明した後

主席公使の^{拒否権}行使も、今回の総務
訪米の結果如何にもかかっている。特に

自治権の大幅拡大と格差是正の問題がある
旨を答えた。

大臣より、施政権については、最小限の程度
取られたら、おさまるかと質したところ、主席は
理地は

返還のメドがある旨を答えたので、大臣より、若干形
容詞は、(かま)か、何年を後というふう

か(見)は、^{か(見)}は、旨を説明したところ、主席は
民主党として、党の決議では、年限は入れている

旨を答えた。

大臣より、共同政参加に南の方の理地の要望は

どの程度強いのかと質したところ、主席より
これは、政治的セクターの問題であり、~~これは~~

施政権とは別である旨を答えたので、大臣より
これは政治的セクターとみてよいかと念を

おしたところ、主席は、その旨を答えた。
大臣より、~~これは~~どうして選挙の
を送るのか

かという問題もあり、日本国内でも国会法の改
正とか、色々やっかいな問題がある。日本の国会

から、執着人として、三権代表の招請がある
場合には、これを送るといふことではどうかと

質したところ、主席は、選挙前での^{表向きの}要請としては、
強く押した旨を説明した。

大臣より、^(の訪米の)共同工は、~~これは~~何年
というメドと明らかになることは出来まいか、

工は之を種に一モ又起さうとある者も居ると思ふからして、これにふたから行なう様

14日、15日の会談の後には沖絶は

に12欲し旨要望し、更に、とにぬ、施政権返還内題が兩國向の公式協議の場合に

の事ったことだけて、大きな前進であり、その意味で日本政府の努力を多とするとした

趣旨で、沖絶の人心を落ち着かせるべく努力しては、（復、繰）返し要望したと云ふ。是方（如旨、沖絶与党の幹部にも話してはし）

も、自合として、（^{23年前に積入}）大きな前進であると思ふ。沖絶与党の幹部も心の中では、日本

政府と同じ考之方をしてゐる旨答へた。

最後に大臣より、南くとも3125と、主席か

以前マクマラ国防長官に会つた際、マクマラ長官は、かなりきつことを云つたさうだが、どうし

ことを云つたのかと質したところ、主席は、マクマラは、「日本は、米国の防衛の翼の下

で各情産を^{とけた}にまゝにあり、防衛面での米国に対する協力がある。韓国は日本の

^{ウレ}トナムに出兵してゐるのに日本はしてゐない。又、米国が沖絶を引きあけてから日本の

防衛はどうなるのか。日本は憲法改正かできようか情勢に付いては、日本政府は、

防衛の準備があるのか、と云つた趣旨の事を云ふ。是も、沖絶占領にいたる根本的

原因は、日本の^{真球湾}改革にことにあると云つた旨説明した。